

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587036901	科目番号 / Subject code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Subject	教育と文化 (教育相談) / Educational counseling		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷口 弘一 / Taniguti Hirokazu, 堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷口 弘一 / Taniguti Hirokazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	谷口 弘一 / Taniguti Hirokazu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	taniguti@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部本館215番研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	毎週金曜日14:30 ~ 15:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	カウンセリングとソーシャルサポートを有機的に結びつけ、効果的な援助を提供する方法について理解すること。		
授業到達目標 / Goal	フォーマルなサポートであるカウンセリングとインフォーマルなサポートであるソーシャルサポートについて説明できる( )。学校・家庭場面において、効果的な援助が提供できるようになる( )。		
授業方法 (学習指導法) / Method	主として、講義形式(視聴覚教材、心理尺度等の実習教材、プリントを適宜使用)で行う予定にしているが、心理アセスメントやグループワークなどを可能な限り多く取り入れ、アクティブラーニング形式となるようにしたいと考えている。		
授業内容 / Class outline/Con	授業内容(概要) 心理的な悩みや困難を抱えた人に対する援助には、カウンセラーなど専門家によるサポートと親密な他者など非専門家によるサポートの二つが存在する。本講義では、カウンセリングとソーシャルサポートの理論、学校・家庭場面におけるカウンセリングとサポートの実践、カウンセリングとサポートの効果を抑制する要因などについて解説する。		
キーワード / Key word	カウンセリング, 心理アセスメント, ソーシャルサポート, グループワーク		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	カウンセリングとソーシャルサポート - つながり支えあう心理学 - ナカニシヤ出版		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末試験50% 発表・討論・実習への貢献30% 課題レポート20% この他に、授業で募集する実験や調査などへの参加による学習、もしくはそれに替わる課題なども評価に加味する。 合格基準は全体評価の60%以上		
受講要件 (履修条件) / Requirements	授業外学習 (週平均約2時間)		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	心理アセスメントやグループワークなどの効果を最大限得るために、受講人数を一定数に制限する場合があります。また、心理アセスメントやグループワークの内容および実施回数を、受講人数に合わせて調整する必要があるため、第1回目の講義の際に、確定した講義内容をあらためて説明する。受講を希望する学生諸君は、その説明を聞いた上で、最終的な履修登録の判断を行ってほしい。		
学生へのメッセージ / Message for students	可能な限りアクティブラーニング形式となるようにしたいと考えているので、学生諸君の積極的な授業参加を期待しています。 予習・復習では、教科書はもとより、新聞、インターネット、専門書、学術論文など多くの情報源に当たって、講義内容に関する理解をさらに深めてほしい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	カウンセリングとは何か: 定義・歴史・効用		

第3回	カウンセリングとパーソナリティ
第4回	カウンセリングの理論と技法(1)：クライアント中心療法
第5回	カウンセリングの理論と技法(2)：行動療法
第6回	カウンセリングの理論と技法(3)：認知行動療法
第7回	カウンセリングの理論と技法(4)：精神分析療法
第8回	カウンセリングと心理アセスメント(1)：知能検査
第9回	カウンセリングと心理アセスメント(2)：性格検査
第10回	カウンセリングと心理アセスメント(3)：職業適性検査
第11回	カウンセリングとサポート活動
第12回	ソーシャルサポートとは何か：理論的導入
第13回	ソーシャルサポートと発達
第14回	学校・家庭場面におけるカウンセリングとソーシャルサポート
第15回	カウンセリングとソーシャルサポートの抑制要因
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587037301	科目番号 / Subject code	05870373
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12321_006		
授業科目名 / Subject	教育と文化 (文学と社会) / Literature and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Object Student	カテゴリー「変容する環境とリテラシー」, テーマ名「15-a14 教育と文化」受講生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kenhorii_nu*outlook.com (*の箇所に@)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館6階611番研究室		
担当教員TEL/Tel	kenhorii_nu*outlook.com (*の箇所に@)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日午後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	主題は西洋の古代ギリシアの歴史です。教養としての古代ギリシアの社会についての知識を学びます。外国の歴史を学ぶのは外国語文献を読むことから始まりますから、皆さんには英語の絵本のようなものを翻訳してもらいます。その作業によって「知ること」に対する態度を養います。翻訳で内容を理解した上で古代ギリシアの社会の特徴を学びます。そこから現代社会にまで受け継がれる文化や教育の特徴を考えます。		
授業到達目標/Goal	西洋の古代ギリシアの歴史, 社会, 文化の特徴を説明できるようにする ( , , , A, B, D)。英語による歴史叙述を読んで理解することができる ( , , , D)。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英文翻訳の予習, 翻訳文の完成のためのグループディスカッション, 古代ギリシア社会の考察を行います。PCの使用とLACSの利用を予定しています。		
授業内容/Class outline/Con	S. Peach & A. Millard, The Greeks, Tulsa, 1990のイラスト世界史のシリーズ本を題材に使用します (第4・5回のみA. Villing, The Ancient Greeks, Los Angeles, 2010)。あらかじめ課題プリントを配布するので翻訳と下調べの予習をしてもらいます。予習の内容を講義時にグループディスカッションしたりクラスで発表してもらいます。5つの主題についてレポートを提出してもらいます。また第13~15回の講義に備えて、ヒルトン『チップス先生さようなら』新潮社(文庫)を読んで、19世紀後半から21世紀の初めの英国パブリックスクールの課程の中でギリシア語やラテン語が身近にあったことを把握しておいて下さい。 第1回 ガイダンス 第2回 Social structure ~ 翻訳の検討 第3回 社会階層のまとめ 第4回 Democracy in Athens ~ 翻訳の検討 第5回 アテネ民主政のまとめ 第6回 Learning ~ 翻訳の検討 第7回 学問のまとめ1 第8回 学問のまとめ2 第9回 古代ギリシアの哲学者たち 第10回 The theatre ~ 翻訳の検討 第11回 ギリシア劇の特徴 第12回 ヨーロッパの大学の起源 第13回 現代人の教養としての古代ギリシア文化1 第14回 小テスト, 現代人の教養としての古代ギリシア文化2 第15回 古代ギリシアと現代についてディスカッション		
キーワード/Key word	西洋史, 古代社会		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: P. ブリュレ『都市国家アテネ~ペリクレスと繁栄の時代』創元社。参考書: 伊藤貞夫『古代ギリシアの歴史』講談社, 山本茂他『西洋の歴史〔古代・中世編〕』ミネルヴァ書房, ヒルトン『チップス先生さようなら』新潮社(文庫)。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	古代ギリシアに関する教養的知識の小テスト(40%), レポート(50%), 予習・復習などの授業課題への良い取り組み(10%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は、単元に応じた個別指導を行なう。授業外学習に週平均2時間以上を充てること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	初回に予習の仕方について案内文書を通じて示すので、それによって予習をすること。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587038101	科目番号 / Subject code	05870381
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12351_005		
授業科目名 / Subject	教育と文化 (芸術) / Art		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 泰 / Nakagawa Tooru, 堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 泰 / Nakagawa Tooru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 泰 / Nakagawa Tooru		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakagawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部美術技術教室209-1		
担当教員TEL/Tel	095-819-2351		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月12:10-12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>○美術における表現の喜びや感動を学ぶ</p> <p>○長崎を作品に表現することで、長崎県独自の可能性と課題を考える</p> <p>○全学モジュール科目「13-04教育と社会」の選択科目(モジュール)</p>		
授業到達目標/Goal	<p>1. 日常的な縛りから開放される人間の意義を説明できる</p> <p>2. 身近な環境との出会いや交流を実現することができる</p> <p>3. 制作を通して自由な発想と多様な表現方法を獲得する</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	表現と鑑賞の相互関係を基にし、実技を絡めながらの講義形式で行う 実技については個人制作、グループに分かれての共同制作も実施する		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照		
キーワード/Key word	現代美術、デザイン、創造、セルフエスティーム		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない 参考書については適宜紹介する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	提出物 [ 作品 ] ( 40% )、提出物 [ レポート ] ( 30% )、受講態度 [ 積極的な参加 ] ( 30% )		
受講要件 (履修条件) /Requirements	<p>実技を実施するので定員は50名以内</p> <p>原則として全回出席することを単位認定の要件とする</p> <p>問題意識をもって受講して欲しい</p> <p>材料用具は個人負担であり、準備物は不可欠である。また、制作に必要な時間には個人差があり、作品完成のために時間外での制作が必要である</p>		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	<p>準備・事前学習</p> <p>美術に関心を持ち、楽しみながら学ぶ習慣を日頃からつけておくこと</p> <p>授業のなかで適宜、具体的な内容について指示する</p>		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	美術表現の意義と役割		
第2回	美術表現の原点		
第3回	現代美術の魅力		
第4回	非現実的キャラクター ( 1 )		
第5回	非現実的キャラクター ( 2 )		
第6回	非現実的キャラクター ( 3 )		
第7回	作品鑑賞 ( 1 )		
第8回	デジカメアート ( 1 )		
第9回	デジカメアート ( 2 )		

第10回	デジカメアート（3）
第11回	作品鑑賞（2）
第12回	コラージュによる不思議な世界（1）
第13回	コラージュによる不思議な世界（2）
第14回	コラージュによる不思議な世界（3）
第15回	美術の可能性を求めて
第16回	